



Press Release

ランボルギーニ・チェンテナリオ、ジュネーブ・モーターショーで発表： ランボルギーニの伝説を受け継ぐフューチャリスティックなデザイン

- ・クーペ 20 台、ロードスター 20 台のワンオフ限定生産
- 販売価格は 175 万ユーロ(税抜)、全 40 台既に売約済み
- ・770 hp を発生する V 型 12 気筒自然吸気エンジンはランボルギーニ史上最もパワフルなエンジン。ウェイトパワーレシオは 1.97 kg/hp
- ・革新的技術を搭載したフューチャリスティックでピュアかつ無駄のないデザイン
- ・新ランボルギーニ・リアホイール・ステアリングに、カーボンファイバー製モノコックとボディを採用し、空力面でも向上
- ・タッチスクリーンでインターネット、ウェブラジオ、テレメトリー、Apple CarPlay が利用可能に

【サンタアガタ・ボロネーゼ/ジュネーブ、2016 年 3 月 1 日】

アウトモビル・ランボルギーニは、創業者フェルッチオ・ランボルギーニ生誕 100 周年を迎える今年のジュネーブ・モーターショーにて「ランボルギーニ・チェンテナリオ」"Lamborghini Centenario" (以下、チェンテナリオ)を発表いたします。生産台数は、限定生産となり、クーペ 20 台とロードスター 20 台のみ。販売価格は 175 万ユーロ(税抜)で、すでに全 40 台が売約済みです。

チェンテナリオは、ランボルギーニのワンオフ戦略を受け継ぎ、革新的なデザインと高度なエンジニアリングを示すモデルです。V 型 12 気筒構造を採用した自然吸気エンジンの最大出力は 770hp。0-100km/h 加速は 2.8 秒、0-300km/h 加速は 23.5 秒、さらにトップスピードは 350 km/h 以上。100 km/h からのブレーキ停止距離は 30m。カーボンファイバー製ボディの乾燥重量はわずか 1,520kg、パワーウェイトレシオも 1.97kg/hp に止まっています。

ボディに施された空力デザインのひとつが、高速走行時に伸展することでダウンフォースを発生させる伸縮可能なリアウイング。また、リアホイールステアリングの導入により敏捷性および安定性が向上するとともに、タッチスクリーンによりインターネットの閲覧や Apple CarPlay をはじめとしたインフォテインメントの利用が可能となりました。

「チェンテナリオは、伝統と革新を完璧に融合させた車です。フェルッチオ・ランボルギーニという伝説的人物に敬意を払いつつ、未来へと目を向けています。チェンテナリオは、我が社のデザイナーとエンジニアがシリーズモデルの生産にまつわる制約を超えて、傑出した成果を達成する絶好の機会と言えるでしょう。こうして完成したチェンテナリオは、理想のコレクターズカーを体現するとともに、ランボルギーニの最新技術や並外れたパフォーマンスを示しています。唯一無二のブランドを世に送り出し、不可能なことなどないと信じて非凡かつアイコン的な車を製造し続けたフェルッチオ・ランボルギーニ生誕100周年を記念するにふさわしいモデルとなりました。チェンテナリオは、フェルッチオ・ランボルギーニその人と、彼と現在の私たちが思い描く未来に捧げるスーパースポーツカーです。」とアウトモビル・ランボルギーニ社代表兼 CEO のステファン・ヴィンケルマン は語ります。

Automobili Lamborghini S.p.A.

Communications

Gerald Kahke

Phone number +39 051 6817711

gerald.kahke@lamborghini.com

Press Office - Italy and Southern Europe

Clara Magnanini

Phone number +39 051 6817711

clara.magnanini@lamborghini.com

Press Office - Squadra Corse

Chiara Sandoni

Phone number +39 051 6817711

chiara.sandoni@lamborghini.com

Press Office - Events and

Collezione Automobili Lamborghini

Rita Passerini

Phone number +39 051 6817711

rita.passerini@lamborghini.com

Press Office - UK and Middle East

Juliet Jarvis

Phone number +44 (0) 7733 224774

juliet@jic.uk.com

Press Office - North and South America

Kevin Fisher

Phone number +1-323-556-8853

kevin.fisher@centigrade.com

Press Office - Japan, Korea and Oceania

Rika Iimure

Phone number +81-(0)3-5475-6626

rika.iimure@lamborghini.com

Press Office - APAC and China

Julie Taieb-Doutriaux

Phone number + 86 139 1124 4757

julie.taieb@lamborghini.com



デザインおよび空力性能

チェンテナリオは、斬新かつ刺激的なデザインを追求するランボルギーニの精神を見事に体現しています。また、限定生産により、ランボルギーニのデザイナーやエンジニアにその技術力を自由にデモンストレーションできる機会ともなりました。

新たなデザイン言語にもとづくピュアで研ぎ澄まされたラインは、ボディ全体にはっきりと表現されており、ランボルギーニの根幹を成す「機能あってこそそのフォルム」という信念を体現しています。また、優れた空力性能を示すインテーク、アウトレットおよびダクトによって実現した高い空気透過性を備えています。

フロントからリアへ一本のラインが長く低く張り出し、クリーンかつ官能的で一体感のあるランボルギーニならではのボディラインが際立ちます。全長 4.924m、全高 1.143m。フロントおよびリアでは、複数のフィンが構成する空力的デザインの吸気口が存在感を放っています。1970年代のスポーツカーを髣髴とさせるフロントボンネットの巨大なエアスクープはデザイン面のみならず機能面でも役割を担っており、車体のフロント部分からの空気取り入れを可能にすることでフロントアクスルのダウンフォース向上に貢献します。

さらに、ヘッドライトのケーシング内のダクトやサイドスカート内ダクト、ホイールアーチ周りのダクトに空気を流すことでリアラジエーターへの空気の流れを改善し、冷却を最適化しました。また、六角形のカーボンファイバーとガラスのエンジンカバーが、航空機にヒントを得たエアスクープ付ルーフのデザインを強調しています。

ボディに見られる最大の特徴は、グロス仕上げのカーボンファイバーです。フロントボンネットからシザードアパネル(V型 12気筒モデル専用)、ルーフにかけてのラインは有機的かつ空力的効果に優れ、流れるような美しさを表現しています。フロントスプリッター、サイドスカート、ホイールアーチにリアディフューザーなどを配し、機能、技術、空力性能の最大化を前提に設計したボディの下部分にはマット仕上げのカーボンファイバーを使用しております。

フロントホイールおよびリアホイールに見られる不規則なアーチもまた、その他のランボルギーニ・モデル同様、ボディデザインの大きな特徴のひとつです。マット仕上げのカーボンファイバーがアクセントのアーチは、エアフローダクトを覆い、ボディの空力デザインを強調します。なかでも一際目を惹くのがリアホイールのアーチ側面で、チェンテナリオのリアホイールステアリングのアクセントとなっています。鋳造圧延アルミニウム製の専用 20 インチ/21 インチ・フロント/リアに納まるのは、ピレリ PZero タイヤ。カーボンファイバーがポイントのスポークファンはカーボンセラミック製ブレーキから熱風を逃すダクトを覆い、セントラルロッキング・ホイールナット部分に「暴れ牛」のロゴが施されています。



車体後部で最も大きな存在感を放っているのが、統合型リアディフューザー。大きな面積が空気流配分を最適化するとともに車のダウンフォースを最大化し、チェンテナリオの優れた空力性能を美しく強調します。熱交換を最大化する目的で、車周りの機械パーツ同様、リアタイヤは剥き出しのデザインとなっています。一方で、ディフューザーの上に浮いているように見えるのは、チェンテナリオの Y 型リアライト。この LED ライトは、実際には「Y」の端で車体と繋がっており、リアの幅を視覚的に拡大する効果があります。この独特なデザインは、日夜問わずお楽しみいただけます。

伸縮可能なリアウイングは、静止時や低速走行時にはボディに収納され、ミニマルなラインを保ちます。車両の動的コンディションと選択した走行モードによって、ウイングは最大 150mm まで伸展、最大 15 度まで回転し、ハイパフォーマンス時における空力効率を最適化します。

最高出力とパフォーマンス

動力源とするのは、そのダイナミックなポテンシャルにふさわしいランボルギーニ V 型 12 気筒エンジン。低回転時であっても、反応性に優れたエンジンが自然吸気エンジンならではの独特なエンジン音をはじめとした個性を発揮します。最高出力 770 hp (566 kW)を実現すべく改良を施し、エンジンのスピードリミッターを 8,350 rpm から 8,600 rpm にまで引き上げたチェンテナリオのエンジンは、ランボルギーニ史上最もパワフルなエンジンと言えるでしょう。

0-100km/h 加速は 2.8 秒、0-300km/h 加速は 23.5 秒、さらにトップスピードは 350 km/h を超えます。ブレーキ停止距離の短さも圧倒的で、100 km/h からのブレーキ停止距離は 30m、300km/h からは 290m となっています。

シャーシおよび走行

ボディは、モノコックをはじめとした全ボディパーツおよびトリムも含め、すべてカーボンファイバー製です。乾燥重量はわずか 1,520 kg で、パワーウエイトレシオは 1.97kg/hp、ねじり剛性は、1 度につき 35,000 Nm となっています。

チェンテナリオの四輪駆動には、新ランボルギーニ・リアホイール・ステアリングシステムを採用。低速走行時には後輪がステアリング角と反対方向に向き、実質的にホイールベースを削減します。その結果、低速走行時における方向転換の敏捷性が増し、より小さいステアリング角と回転半径での方向転換が可能となりました。高速走行時には、後輪がステアリング角と同方向に向くことでホイールベースが増加。結果、後輪のステアリングの安定性が増し、車両応答を最適化します。また、「ストラダ」、「スポルト」、「コルサ」の 3 種のドライビングモードでの走行時には、後輪のステアリングが各モードの個性をより際立たせ、なかでも動的横荷重において威力を発揮します。



チェンテナリオのリアホイール・ステアリング専用チューニングされたランボルギーニの磁気粘性サスペンションとランボルギーニ・ダイナミック・ステアリング(LDS)を搭載、最適な反応性とドライバーへのフィードバックを実現しました。また、ランボルギーニのインディペンデント・シフティング・ロッド(ISR)ギアボックス経由のトランスミッションを採用したことで、最速かつ軽量、そしてエモーショナルなギヤシフトが可能になりました。

内装 - 高級感および機能性

新ステッチを施したダッシュボード、ステアリングホイール、サンバイザー、ロッカーカバーや、カーボンファイバーとアルカンターラを使用した新インナードアパネルを搭載した軽量カーボンファイバー製スポーツシートなど高級感溢れる内装は、お好みに応じて自由にカスタマイズ可能です。

最大の特徴は、機能性と接続性。衛星ナビゲーションを搭載した 10.1 インチの高解像度タッチスクリーンにより、インターネットの閲覧、Eメールや SNS、ウェブラジオ等オンラインアプリを使用することで車内外と繋がることも可能です。また、Apple CarPlay も搭載し、安全かつ効率的な通話や方向検索、音楽再生、iPhone 機能へのアクセスが可能です。

インフォテインメントシステムには、高度なテレメトリーも搭載。公道でも、ご希望であればレーストラックでも(フロントトランクにヘルメットが 2 個収納できるスペースがあります)、最高のパフォーマンスを発揮します。速度、時間、横力および G の力を記録できるだけでなく、異なる状況やドライバーによる比較も可能です。また、オプションの車内搭載カメラ 2 台が、ドライバーの体験した内容を記録します。

クーペ 20 台、ロードスター 20 台

チェンテナリオはクーペ 20 台、ロードスター 20 台の限定生産となり、2016 年秋から 2017 年にかけて納車となります。チェンテナリオは、すでに販売価格 175 万ユーロ(税抜)で全 40 台売約済みです。新モデルの組立てに当たっては、ランボルギーニの研究開発部門に加え、OPAC 社がパートナーとして重要な役割りを果たしました。

なお、ジュネーブで展示予定のモデルは全面カーボンファイバー仕上げですが、購入者の好みに応じて一部パーツに剥き出しのカーボンファイバーを使用したり、ランボルギーニのアド・ペルソナム・カスタマイズ・プログラムでご用意した色へのご指定も可能です。

チェンテナリオは、ワンオフモデルやエクスクルーシブな限定生産モデルを生産することでブランド認知度の向上を図り、さらにデザインと技術の可能性を追求するランボルギーニの戦略を受け継いでいます。レヴェントンにはじまり、セスト・エレメント、アヴェンタドール J、ヴェネーノへと続いた限定生産モデルは、いずれも瞬時に人々の心をとらえ、象徴的なステータスを確立し、そして既存のモデルを上回る価値を提供しています。



■アウトモビリ・ランボルギーニ S.p.A.

1963年に設立されたアウトモビリ・ランボルギーニは、イタリア北東部のサンタアガタ・ボロネーゼに本社を置いています。2014年開催のジュネーブ・モーターショーで世界デビューを果たした「ランボルギーニ・ウラカン LP 610-4」は、アイコン的な名車「ガヤルド」の後継車です。革新的な技術力と目を瞠るようなパフォーマンスで、ラグジュアリー・スーパー・スポーツカーのドライビング体験をあらためて定義するモデルとなっています。「アヴェンタドール LP 700-4 クーペ」、「アヴェンタドール LP 700-4 ロードスター」および「アヴェンタドール LP 750-4 スーパーヴェローチェ」は、V-12 エンジン搭載のラグジュアリー・スーパー・スポーツカーの世界基準となる存在です。世界中に130もの正規ディーラーを有するランボルギーニは、半世紀にわたるその歴史の中で、「350 GT」、「ミウラ」、「エスパーダ」、「カウンタック」、「ディアブロ」、「ムルシエラゴ」から、「レヴェントン」、「セスト・エレメント」「アヴェンタドール J」といった限定シリーズまで、次々と非凡で高級感溢れる名車を世に送り出して来ました。また、2013年にはブランドの50周年を記念して、新たに「ヴェネーノ・クーペ」、「エゴイスタ」および「ヴェネーノ・ロードスター」が発表されています。

■リリースに関するお問い合わせ先

広報窓口： ランボルギーニ・ジャパン PR 事務局(共同ピーアール株式会社内)
担当： 吉田、中里、横山
TEL： 03-3571-5238
FAX： 03-3571-5380
Email： lamborghini-pr@kyodo-pr.co.jp

■ご掲載いただく場合のお客様の問い合わせ先

ランボルギーニ カスタマーセンター TEL: 0120-988-889
アウトモビリ・ランボルギーニ ホームページ <http://www.lamborghini.com/>